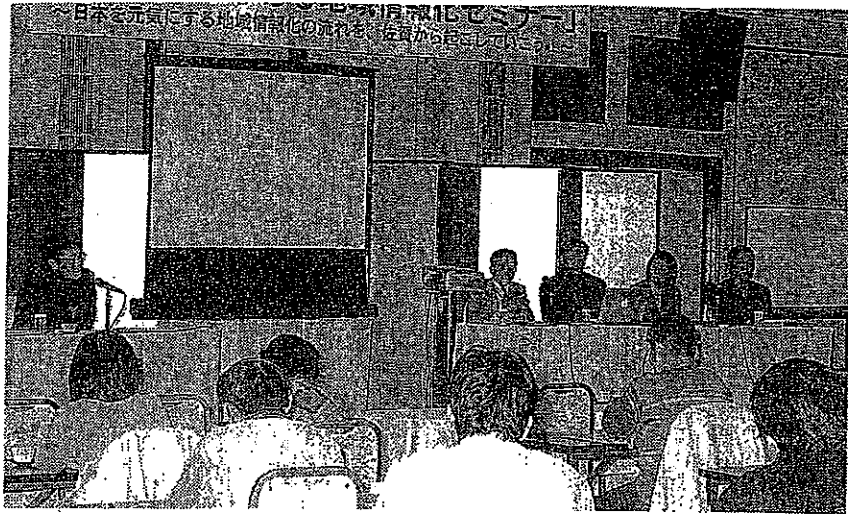


県が地域情報化セミナー



↑↑を使った佐賀の地域情報化を討議したパネルディスカッション。佐賀市の佐嘉神社記念館

IT暮らしにどう活用

顧客開拓や障害者就業も

佐賀市 地域情報化のリーダー育成を目的とした「佐賀からはじめる地域情報化セミナー」(奥主催)が十七日、佐賀市の佐嘉神社記念館であった。講演やパネルディスカッションで、ITを活用した佐賀の地域情報化について論議し、県内外から訪れた約六十人が耳を傾けた。

佐賀市で60人参加

本年度地域ITリーダーの伊藤敦子副理事長が、育成事業(六回)の最終回。ヤレシド(障害者)就業の福岡市でエリアマーケティングのためのIT活用策について「NGサイト」NCに「ぼん」話した。

ドットコムを運営する高 光産業の妹尾八郎社長は、この後、現在の佐賀が抱えるIT化に関する課題や、将来のビジョンなどに、ホームページを活用して、広域からの消費者を増やす、という議論。パネリストの方策などを講演。大型店と中小企業の対立という構図を、農業平田義信さん(玄海町)で考え、双方が融合できる、結局は人と人とのつながる、情報共同組合の概念で「り」と、ITを駆使しながら考えてと話した。また金沢市(NPO法人STAND 要性を訴えた。(石井)

佐 賀 新 聞

2007年(平成19年)3月20日(火曜日)

市町村の話題